

偕楽園本園を早期復旧し観光客数の回復に貢献

— 偕楽園の災害復旧 —

- 偕楽園では、東日本大震災により、本園の好文亭・南崖・見晴し広場や、拡張部の田鶴鳴梅林・窈窕梅林・桜川駐車場・梅桜橋など多くの被災があり、本園全域の約13haを閉園。
- 国土交通省の災害査定を経て災害復旧を進め、**工事が完了したエリアから順次開園**（下表参照）。
- 2月7日に偕楽園全面復旧記念式典を執り行い、**「水戸の梅まつり」前までに好文亭を含め本園約13haを全面復旧**。

偕楽園の早期復旧・復興を目標に掲げた支援団体「偕楽園・弘道館復興支援の会」の募金活動により、多額の寄附金が寄せられており、国土交通省の災害復旧事業の採択基準に合わない部分の復旧などに活用。



これまでの開園実績

開園日	開園面積	開園エリア
4月29日	約9.3ha	梅林・竹林・大杉森エリア
9月1日	約0.2ha	見晴らし広場エリア
12月1日	約2.5ha	偕楽園本園拡張部エリア
1月1日	約0.5ha	南崖エリア
2月7日	約0.5ha	好文亭エリア



開園後、観光客で賑わう園内

